

日本経済新聞

標識認識し危険運転警告

ワイテックスが車載装置

速度・進入禁止

自動車関連機器などを製造するワイテックス（群馬県桐生市）は月内にも道路標識を認識し、違反すると音声で警告する衝突警報装置を発売する。危険運転を警告することで運転技術や燃費の向上に役立つ。トラックなど業務用車両を中心に売り込み、初年度1万台の販売を目指す。

（税別、取り付け費別）。新製品は同社が開発したデジタルタコグラフ（運行記録計）と連携させ、警告の回数や発生した場所をソフトウェアで確認できるようにする。

止の2種類の標識をセンサーが把握する。違反すると音声とモニターで知らせる。人間が視認できずる明るさと速度であれば反応するという。

新製品は自動車だけでなく歩行者にも反応するほか、渋滞など低速時でも前方車両との衝突を警告する機能を追加した。従来製品と同様、ウインカーを付けずに車線を逸脱した時や通常速度での車両衝突を回避する警告機能も付く。

価格は9万8000円

の販売を目指す。

衝突警報装置「XLA

S-303」を従来製品の後継機として開発した。カメラを使って前方を確認し、速度と進入禁